



ご参考

2010年12月24日

スバル全モデルが米国 IIHS の最新の 2011 年安全評価で 最高評価である「トップセイフティピック」を獲得 -メーカーとして唯一の受賞-

富士重工業の米国販売会社スバル オブ アメリカ インクは、北米地区で現在販売しているスバルの全モデルが、IIHS(米国保険業界の非営利団体)が行う最新の 2011 年の安全性評価において、最高評価の「トップセイフティピック」を獲得したと発表しました。また、スバルは、昨年につき、モデルラインナップ全車(レガシィ、アウトバック、フォレスター、トライベッカ、インプレッサ)が「トップセイフティピック」を獲得した唯一のメーカーと評価されました。

IIHS は 4 段階評価で自動車の安全情報を消費者へ提供しています。昨年の 2010 年評価から、新たにロールオーバー(車両転覆)時の安全評価として、ルーフ強度が「トップセイフティピック」獲得の条件として追加されました。これにより「トップセイフティピック」を得るために、従来の、時速 40 マイル(約 64 キロメートル)の前面オフセット衝突、時速 31 マイル(約 50 キロメートル)の側面衝突と鞭打ち試験に加え、このルーフ強度を含めた全ての試験で最高の「Good」評価を獲得し、かつ横滑り防止装置(VDC^{***})が装備されていることが必要となりました。

本発表を受け、スバル オブ アメリカのトーマス ドール上級副社長兼 COO は「スバルのお客様は安全性を非常に重要視しているのです。昨年につき今回も、全モデルが最高の評価を受けた唯一のメーカーとしてスバルが選ばれたことを大変嬉しく思います。これはまさに偉業であり、スバルの商品に通じる高い技術力に対する賛辞です。このような IIHS による評価を通じ、スバルが安全で、耐久性や信頼性がありそして運転して楽しい車づくりをする上で、極めて高い基準をもっているということをお客様にいっそう理解していただけるものと思います。」とコメントしました。

スバルは、これからも、定評の高い安全性能のさらなる向上に努め、これからもお客様へ安心と信頼を提供できるよう車の開発に取り組んでいきます。

*Subaru of America, Inc.: ニュージャージー州チェリーヒル、会長兼社長 蓮沼愛雄

**Insurance Institute for Highway Safety: ハイウェイ安全保険協会

***Vehicle Dynamics Control: ビークルダイナミクスコントロール